



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月7日

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3059 URL <http://company.hiraki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 向畑 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略室長 (氏名) 姫尾 房寿 (TEL) (078) 967-4601
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	14,091	2.9	793	42.3	750	46.7	509	61.9
28年3月期第3四半期	13,698	0.3	557	7.3	511	17.2	314	16.2

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 856百万円(464.2%) 28年3月期第3四半期 151百万円(△70.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	104.56	—
28年3月期第3四半期	64.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	18,558	5,461	29.4
28年3月期	17,321	4,701	27.1

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 5,461百万円 28年3月期 4,701百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年3月期	—	10.00	—		
29年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	6.3	650	16.8	550	12.7	350	22.1	71.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項、(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	5,155,600株	28年3月期	5,155,600株
29年3月期3Q	284,630株	28年3月期	284,630株
29年3月期3Q	4,870,970株	28年3月期3Q	4,870,970株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年12月31日）におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀の金融緩和策等により、雇用・所得環境に改善がみられるなど、緩やかな景気回復基調で推移しました。一方で海外経済は、英国のEU離脱問題に伴う欧州経済不安や、中国をはじめ新興国の景気減速懸念から先行き不透明な状況となっております。当社グループが属する小売業界においては、実質所得の伸び悩み等によって節約志向は根強く、個人の消費マインドは弱含みに推移し、依然として厳しい環境となっております。

このような状況の中、当社グループは上場10周年を迎える本年度を更なるビジネスチャンスと捉え、商品力・マーケティング力の強化を図り、安く作り・安く売る体制づくりに取り組み、事業展開を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高140億91百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益7億93百万円（前年同期比42.3%増）、経常利益7億50百万円（前年同期比46.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億9百万円（前年同期比61.9%増）と増収増益となりました。

当社グループの報告セグメントの当第3四半期連結累計期間における業績は次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、関東・関西・東海地方を主に、延べ4ヵ月に亘るテレビCMを放映し、また、WEB戦略の強化、2月から11月に実施した上場10周年記念クーポンプレゼントキャンペーン等の販売促進策並びに訴求力のある販売促進商品が新規顧客の獲得・受注増加に寄与し、売上高は73億14百万円（前年同期比6.5%増）となりました。利益面では、売上総利益率は僅かながら低下したものの増収により売上総利益は増加し、セグメント利益（営業利益）は8億70百万円（前年同期比29.0%増）と増収増益となりました。

商品面では、8月より発売しました上場10周年記念商品『ジョグ軽・秋冬モデル(780円)』は11万足、『ファミッポン（499円）』・『ボアモカ(780円)』はそれぞれ13万足を超えるご注文をいただき、受注をけん引するヒット商品となりました。

② ディスカウント事業

ディスカウント事業におきましては、来店客数増加を図るため上場10周年記念感謝祭セールや、PB商品を主体とした靴専門店の出店、38回の外部催事を開催する等、PB商品の売上比率拡大に向け積極的に事業展開しましたが、売上高は61億95百万円（前年同期比2.0%減）となりました。利益面では、靴および衣料のPB商品売上比率増加による売上総利益率の改善、水道光熱費を主に販売費及び一般管理費の削減により、セグメント利益（営業利益）は1億8百万円（前年同期比2.2%増）と減収増益となりました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、主要OEM先に対する売上増加および靴小売店向け販売が堅調に推移し、売上高は5億82百万円（前年同期比13.5%増）となりました。利益面では、販売運賃を主に販売費及び一般管理費が増加いたしましたが、増収によりこれを吸収し、セグメント利益（営業利益）は95百万円（前年同期比27.2%増）と増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況の分析)

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、13億87百万円増加し、118億68百万円となりました。これは、現金及び預金が14億40百万円、未着商品が2億5百万円増加し、受取手形及び売掛金が3億15百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、1億50百万円減少し、66億89百万円となりました。これは、建物及び構築物が1億42百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ、12億36百万円増加し、185億58百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、1億円減少し、46億39百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が2億33百万円、買掛金が1億16百万円増加し、その他流動負債が5億1百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ、5億77百万円増加し、84億57百万円となりました。これは、長期借入金が5億94百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、4億76百万円増加し、130億97百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、7億59百万円増加し、54億61百万円となりました。これは、繰延ヘッジ損益が3億41百万円増加、利益剰余金が4億11百万円増加したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.3ポイント増加し29.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「財務活動によるキャッシュ・フロー」で得られた資金を、「投資活動によるキャッシュ・フロー」で使用した結果、前連結会計年度末に比べ5億42百万円増加し、28億45百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、8億80百万円（前年同四半期は18億47百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益7億50百万円の計上、売上債権3億11百万円の減少、仕入債務1億21百万円の増加、たな卸資産1億44百万円の増加、法人税等の支払額1億32百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、10億10百万円（前年同四半期は14億77百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出53億円、定期預金の払戻による収入44億3百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、6億75百万円（前年同四半期は19百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入れによる収入27億50百万円、長期借入金の返済による支出19億22百万円、配当金の支払額97百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在の状況を踏まえ、平成28年11月8日の決算短信にて発表しました平成29年3月期の業績予想を検討した結果、当該四半期において平成29年3月期の連結業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,305,835	6,746,095
受取手形及び売掛金	1,166,498	851,407
商品	3,688,858	3,629,015
未着商品	62,836	267,978
貯蔵品	16,651	15,996
繰延税金資産	183,069	17,411
その他	74,228	355,940
貸倒引当金	△16,298	△15,096
流動資産合計	10,481,679	11,868,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,067,752	2,925,600
土地	3,157,566	3,157,566
その他(純額)	239,503	250,954
有形固定資産合計	6,464,822	6,334,121
無形固定資産	215,059	180,760
投資その他の資産	160,060	174,477
固定資産合計	6,839,942	6,689,359
資産合計	17,321,621	18,558,108
負債の部		
流動負債		
買掛金	939,182	1,056,068
1年内返済予定の長期借入金	2,193,112	2,426,456
未払法人税等	84,578	179,658
賞与引当金	141,823	78,813
役員賞与引当金	-	5,285
ポイント引当金	42,541	55,892
その他	1,338,532	836,994
流動負債合計	4,739,771	4,639,167
固定負債		
長期借入金	7,387,611	7,981,863
環境対策引当金	13,568	13,568
退職給付に係る負債	135,338	143,232
資産除去債務	31,488	31,916
その他	312,312	287,307
固定負債合計	7,880,318	8,457,887
負債合計	12,620,090	13,097,055

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	3,368,616	3,780,494
自己株式	△151,003	△151,003
株主資本合計	4,817,054	5,228,932
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,807	12,654
繰延ヘッジ損益	△138,365	203,158
為替換算調整勘定	21,035	16,308
その他の包括利益累計額合計	△115,523	232,121
純資産合計	4,701,531	5,461,053
負債純資産合計	17,321,621	18,558,108

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	13,698,246	14,091,606
売上原価	7,834,217	7,990,203
売上総利益	5,864,029	6,101,403
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,705,079	1,652,690
貸倒引当金繰入額	10,292	12,393
ポイント引当金繰入額	38,838	80,875
給料手当及び賞与	1,491,025	1,471,776
賞与引当金繰入額	78,492	78,813
その他	1,983,040	2,011,756
販売費及び一般管理費合計	5,306,768	5,308,305
営業利益	557,260	793,098
営業外収益		
受取利息	5,508	4,017
受取配当金	1,252	1,350
デリバティブ評価益	-	31,418
為替差益	22,810	-
その他	22,872	19,815
営業外収益合計	52,443	56,602
営業外費用		
支払利息	83,613	77,770
その他	14,597	21,353
営業外費用合計	98,210	99,124
経常利益	511,493	750,576
特別損失		
減損損失	40,770	-
特別損失合計	40,770	-
税金等調整前四半期純利益	470,723	750,576
法人税、住民税及び事業税	102,850	232,879
法人税等調整額	53,308	8,400
法人税等合計	156,159	241,279
四半期純利益	314,564	509,297
親会社株主に帰属する四半期純利益	314,564	509,297

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	314,564	509,297
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,386	10,847
繰延ヘッジ損益	△152,623	341,523
為替換算調整勘定	△668	△4,726
その他の包括利益合計	△162,679	347,644
四半期包括利益	151,884	856,941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	151,884	856,941
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	470,723	750,576
減価償却費	230,126	248,712
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,121	△1,206
賞与引当金の増減額(△は減少)	△61,822	△63,010
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	4,625	5,285
ポイント引当金の増減額(△は減少)	2,027	13,351
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,740	7,893
受取利息及び受取配当金	△6,760	△5,367
支払利息	83,613	77,770
為替差損益(△は益)	△22	△1,474
減損損失	40,770	-
売上債権の増減額(△は増加)	336,492	311,996
たな卸資産の増減額(△は増加)	936,573	△144,644
仕入債務の増減額(△は減少)	80,746	121,847
その他	28,411	△237,705
小計	2,150,121	1,084,023
利息及び配当金の受取額	7,198	5,458
利息の支払額	△83,565	△76,664
法人税等の支払額	△226,726	△132,240
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,847,029	880,577
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,100,900	△5,300,700
定期預金の払戻による収入	1,700,000	4,403,400
有形固定資産の取得による支出	△114,002	△26,201
有形固定資産の売却による収入	84,146	-
無形固定資産の取得による支出	△44,873	△84,703
投資有価証券の取得による支出	△2,210	△2,244
投資有価証券の売却による収入	-	1,819
その他	348	△1,739
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,477,491	△1,010,369
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,100,000	2,750,000
長期借入金の返済による支出	△1,936,263	△1,922,404
配当金の支払額	△97,631	△97,175
その他	△46,769	△55,394
財務活動によるキャッシュ・フロー	19,335	675,025
現金及び現金同等物に係る換算差額	△777	△2,273
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	388,095	542,959
現金及び現金同等物の期首残高	2,806,363	2,302,735
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,194,459	2,845,695

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	通信販売事業	ディスカウント 事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,865,015	6,320,322	512,908	13,698,246	—	13,698,246
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,865,015	6,320,322	512,908	13,698,246	—	13,698,246
セグメント利益	674,331	105,851	75,186	855,370	△298,109	557,260

(注) 1 セグメント利益の調整額△298,109千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメントに配分していない遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減損いたしました。当該減損損失の計上額は、40,770千円です。

II. 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	通信販売事業	ディスカウント 事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,314,137	6,195,187	582,281	14,091,606	—	14,091,606
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,314,137	6,195,187	582,281	14,091,606	—	14,091,606
セグメント利益	870,208	108,170	95,609	1,073,988	△280,890	793,098

(注) 1 セグメント利益の調整額△280,890千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。